

「東通原子力発電所 平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価実施計画書」の概要

1. 実施内容

(1) 地震動評価および津波評価

近年の研究および平成23年東北地方太平洋沖地震において想定以上の地震セグメントの連動が発生したことを踏まえ、適切な震源および波源モデルを用いた解析を行い、当該解析から想定される地震動および津波が東通原子力発電所へ与える影響を評価する。

(2) 敷地内断層の活動性等の評価

東通原子力発電所敷地内の第四紀の地層に小断裂等の変状を及ぼす断層について、調査および解析を行った上で、断層の活動性等を評価する。

なお、検討に当たっては、第四紀の地層に認められる変状がこれまで知られていない震源による受動的な変位によって形成された可能性も考慮して、念のために仮想的な震源断層モデルの検討とその地震動による影響を評価する。

2. 実施工程

表 実施工程（予定）

発電所名	工 程
東通原子力発電所	<p>▼ 平成23年11月 指示文書受領</p> <p>▼ 平成23年11月      ▼ 平成23年12月 地震動評価および      評価結果報告 津波評価</p> <p>平成24年1月 中間報告</p> <p>▼ 平成23年11月      ▼ 平成24年3月 敷地内断層の活動性等の評価      評価結果報告</p>

以 上